



北村 あや子 区政ニュース

区民要望実現 教材費(一部)修学旅行費等無償化へ！

来年度一般会計予算案 1319億円(前年度比+8.2%)

荒川区 2025 年度予算案が発表されました(詳細は QRコード)。新事業、拡充が示されています。



昨年 2 月に区民要望から日本共産党荒川区議団が条例提案し区民からも陳情が出されていた**教材費無償化**、本会議質問などで取り上げてきた**高齢者と小児インフルエンザ予防接種の無償化**や、**アスベスト調査費用助成**などが計上されています。

一方で、地域交通に係る予算、引き続き物価高騰で厳しい生活を余儀なくされている区民や区内事業者に対する支援、戦後80年節目の年に平和事業に係る記載がありません。予算特別委員会の中で議論を深めてまいります。ご意見をお寄せください。

2025年新年度予算案の主な新規拡充事業

高齢者インフルエンザ予防接種の無償化	65才以上のワクチン接種を無料に。23区協力医療機関でも無料可能に
小児インフルエンザ予防接種無償化	生後6か月から中3年までの注射及び経鼻ワクチン費用を無料に
骨粗しょう症検診の実施	区内整形外科に委託し40～70才で5年毎、6月1日～1月31日検診実施
学校給食費の一食単価をアップ	食材の高騰に対応し各学校に渡す補助単価を拡充(小1・2年272円→301円 3・4年302円→339円/5・6年327円→382円/中学368円→422円)
特定不妊治療費の助成	東京都の特定不妊先進医療助成交付(10分の7上限15万円)を受けた方に一回5万円を上限に区が上乗せ
私立及び認証保育園に対する熱中症対策	空調機器の更新に要する費用の助成(1園102万9千円)
認証保育園運営支援	嘱託医月額20760円・歯科検診1/2補助を10/10に30470円 給食3才未満年間14900円/3才以上20909円・食育推進年間4万円 障害児受入れ人件費月188420円
公園の遊び場の充実	プレイパーク、キャンプ体験会、親子花火広場の開催・ボール遊び場などの整備
生活困窮世帯の子ども学習生活支援	生保・就学援助・児童扶養手当受給世帯等の訪問相談や高校生に対する学習支援を民間事業者に委託(区の施設を使って週1回15名×2)
障害者相談支援事業所支援	新規開設・人員増での事業所移転の家賃を上限2万4千円12か月補助 相談員増員で支援計画を作成1件2万円補助/上限500万円
障害者入浴機会の拡充	尾久生活実習所(3階元高齢者通所施設の入浴施設)を機械浴設置改修し、尾久生活実習所及び荒川生活実習所利用支援メニューとして入浴を提供
重度障害者グループホーム設置	用地取得の見込。プロポーザルで事業者を選定し誘致(3、4年後の開所を目指す)
区立小学校児童への防災キャップ	保護者が防災頭巾を準備から区がヘルメット(5千円程度)を全員に配布
教育相談の充実	スクールソーシャル8名増員し、中学校全校配置に加え小学校3校に1名配置
学校にエデュケーション・アシスタント配置	区立小学校全校1年から3年の担任補佐として各校1名配置
マンション防災の推進	分譲マンションの防災コンサルタント派遣 エレベーター改修・階段台車など防災機器購入・携帯トイレなどの共同備蓄品購入の費用補助・
浸水対策として止水板設置費用補助	マンション管理組合や戸建て住宅所有者などに費用の一部補助
備蓄物資の充実	区民用備蓄を現在の1日分から3日分へ増やしていく 備蓄倉庫の保管スペース確保のために梱包体積のコンパクト品に変更
公衆浴場支援	SNS等での魅力発信サポーターとの契約補助・季節湯の補助対象を拡大
マル経融資の利子補助実施	商工会議所推薦の金融公庫融資について利子1/2を当面3年間補助
高校生海外交流支援	ウインドナウシュタット区との派遣事業に加え、海外交流(1人20万円×6人)
町会自治会のデジタル化促進	回覧板に加えスマホ等で町会の情報へのアクセスなど・
エコ助成の拡充	断熱ドアへの改修・直管型LED証明への改修も加え、当初予算を3倍に
アスベスト調査費用助成	事前調査で分析が必要な場合に分析費用の半額、10万円を上限に助成

荒川区議会 2 月会議 本会議質問にたちます

日本共産党荒川区議団からは私北村と小島、相馬の3人が質問に立ちます。傍聴もできますのでぜひ区議会へお越しください。もちろん YouTube でもご覧いただけます。



あらかわ遊園スポーツハウス改修工事期間中 期日前投票所が一時移転 西尾久ふれあい館へ

2025年3月31日から2027年3月までの約2年間あらかわ遊園スポーツハウスの改修工事が行われる予定です。これに伴い、期日前投票所が西尾久ふれあい館2階に移転します。

2007年から定着して期日前投票が行われているあらかわ遊園スポーツハウスから近い事、十分な面積があること、バリアフリーの点で選定されたとのことです。

今年夏に行われる都議会議員選挙、参議院議員選挙が執行予定の選挙です。衆議院の解散などによる突発的な選挙にも対応します。



2027年4月の荒川区議会議員選挙の際はリニューアル・あらかわ遊園スポーツハウスに戻る予定です。

【問合せ】選挙管理委員会事務局 電話 03-3802-3111 (代表)

都シルバーパス課税世帯値下げ 10月から予定

70歳以上の都民が公共交通機関を無料で利用できる「シルバーパス」。今年10月からおよそ4割値下げして、12,000円にする案が東京都の予算案に盛り込まれます。今後、システムを改修してICカード化の実現を目指すとのことです。



東京都シルバーパスの負担金

	課税世帯	非課税世帯
現行の負担金	20,510円	1,000円
10月以降負担金案	12,000円	1,000円

東京都のシルバーパスは2017年度

には発行枚数が初めて100万枚を超え、

コロナ前の2018年度には約103万枚を発行し、当時都内の70歳以上人口に対する発行割合は46.1%と、多くの都民に利用されてきました。直近の年間発行枚数は約102万枚、うち低所得者以外の発行枚数は約10万枚とのことです。



負担金“一律”1,000円条例案(共産党都議団提案)都ファ、自民、公明は反対

現在のシルバーパス負担金は高齢者の所得によって異なり、金額差が大きい。そのため中間の金額設定があると嬉しい、そもそも金額が高くて買えない...など地域の皆さんから要望をいただいていた。

日本共産党東京都議団は昨年12月、都議会に年額一律1,000円とする条例改正案を提出。5会派39人が賛成しましたが、都民ファースト、自民党、公明党は反対して、残念ながら条例は否決されています。

シルバーパスの値下げはもちろん大歓迎ですが、課税世帯か非課税世帯かで線引きするのではなく、すべての高齢者の交通権、社会参加への保障が求められているのではないのでしょうか。地域交通を確保していくことは、基礎自治体として重要な課題だと思います。

みなさんからの率直なご意見をお待ちしています。

都営住宅 2月の定期募集

申込書は区役所や区民事務所などで2月12日まで配布します。申込書は2月18日渋谷郵便局必着。オンライン申込もあります。書き方など、分からないことは気軽にお尋ねください。

～尾久地域の募集状況～

西尾久8丁目第2 世帯向2戸
西尾久4丁目 単身者向1戸



日時: 2月21日(金) 18:30~20:00 TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

会場: 北村あや子事務所(西尾久2-4-8 1階)

日々の生活、仕事、相続...ひとりで悩まずに相談を。

弁護士と北村がお話をうかがいます。

生活相談はいつでもどうぞ! お気軽に

